



消石灰系仕上材

ALESSHIKKUI

アレスシクイ 外部用

# 施工要領書



関西ペイント株式会社

## <目 次>

☆ 標準塗装仕様	..... P-1
☆ 施工要領	
各種下地補修方法	..... P-2
下地補修フローチャート	..... P-3
下塗り、中塗り、上塗り塗装方法	..... P-4
上塗り注意事項	..... P-5
☆ 共通注意事項	.....P-6

## 1、アレスシックイ外部用塗装仕様

＜適応下地＞  
漆喰仕上げ面（外部）

品名：アレスシックイ外部用ホワイト  
容量：15kg・4kg

＜適応素材＞  
コテ仕上げ本漆喰 コンクリート モルタル など

＜塗装仕様＞  
消石灰系仕上げ塗材

工程	塗料	希釈率 (%)	塗装方法	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)
素地調整	クラック、欠損、漏水などの部分に適切な補修を施す。付着の低下した漆喰をケレン工具（皮スキなど）で除去し、ホコリ、その他の汚れを高圧水洗で取り除き、清浄な面とする。				
含浸塗り	アレスシックイ外部用含浸シーラー (ベース/硬化剤=4/1)	0	刷毛 ローラー	0.20～0.40	16時間以上 7日以内
中塗り	アレスシックイ外部用バインダー	0	刷毛 ローラー	0.12	2時間以上 7日以内
上塗り1	アレスシックイ外部用 ホワイト	上水 5～10	刷毛 ローラー	0.16	4時間以上 7日以内
上塗り2	アレスシックイ外部用 ホワイト	上水 5～10	刷毛 ローラー	0.20	—

1) 標準所要量は、個々の条件により異なり増減します。特に含浸シーラーは、増減幅が大きいのでご注意ください。

2) 色相は「ホワイト」のみです。(調色対応は行ないません)

## 2、施工要領

### 「下地が漆喰の場合」

#### ＜素地調整＞

☆ひび割れ・欠損部の補修方法(軽微な場合)

- ① 軽微なひび割れの場合(目安のひび割れ幅2ミリ以下)  
市販の「しっくいパテ」(家庭化学工業株式会社)が使用できます。  
コテなどでひび割れに擦り込むように塗り付けてください。
- ② 塗りこみ後、1晩乾燥させサンドペーパー(#240程度)で段差が出ないように平滑にしてください。
- ③ 軽微な欠損の場合は数回に分けて塗りこんでください。  
一度に厚付けすると、早期にワレが発生する恐れがあります。  
(数回に分けることで、目安5ミリ程度までの施工が可能です)

☆ひびわれ・欠損部の補修方法(大きな場合)

補修用左官漆喰を用いて面補修をおこないます

推奨補修用漆喰

メーカー:株式会社豊運(TEL06-6708-8131)

推奨下塗り(シーラー)「NICEラテックス#45」

推奨中塗り「しっくい・コテ押さえ中塗り」

推奨上塗り「しっくい・コテ押さえ」

詳細は、株式会社豊運発行「しっくいコテ押さえ」標準施工マニュアル  
をご参照ください。

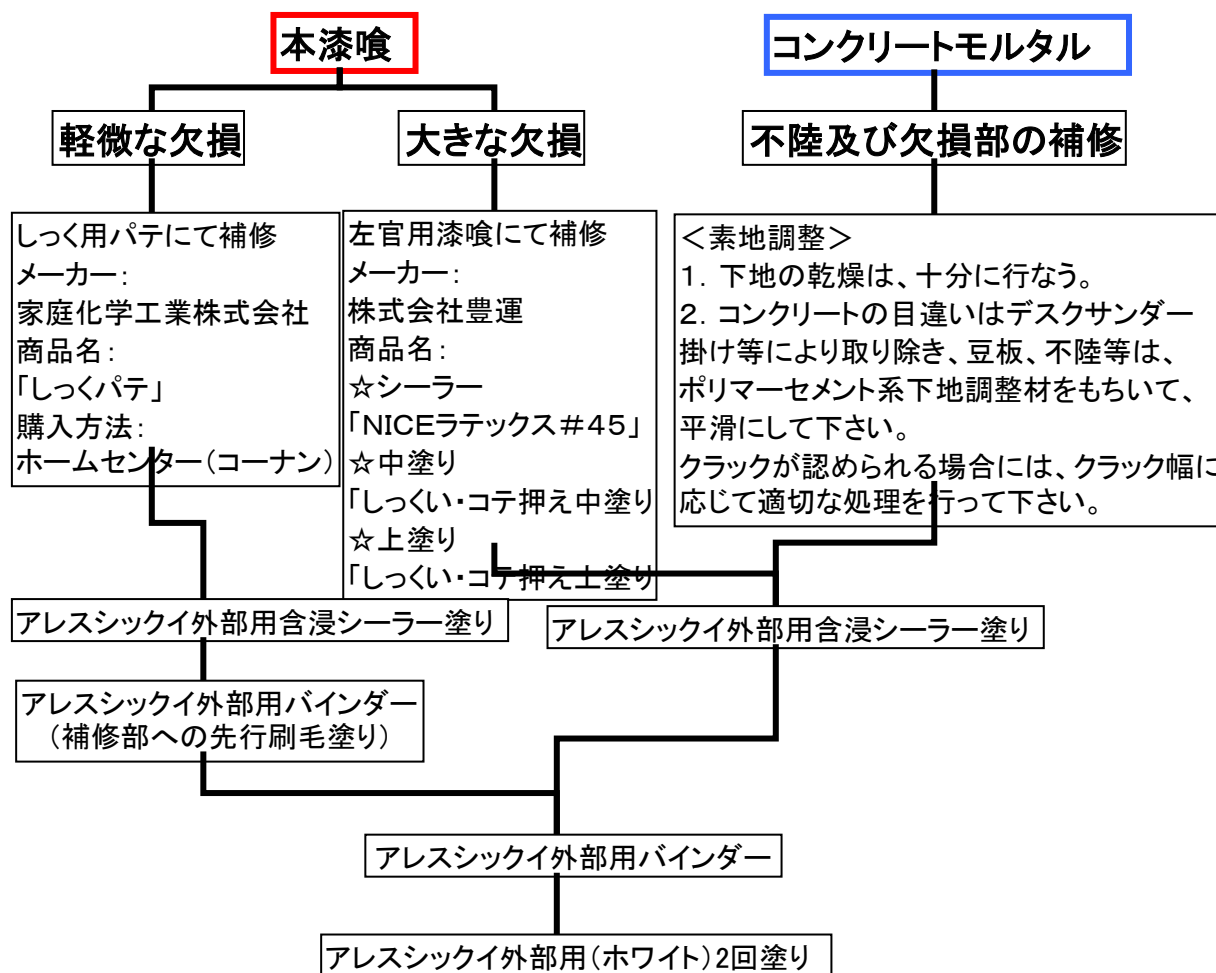
### 「下地がコンクリート、モルタル系の場合」

#### ＜素地調整＞

- ① 下地面の乾燥は、十分に行ない、含水率8%以下、pH10以下になっている  
事を確認した上で塗装して下さい。
- ② 下地の調整  
コンクリート面の目違いは、ディスクサンダー掛け等により取り除き、豆板、  
不陸等は、ポリマーセメント系下地調整剤をもちいて、平坦にして下さい。

クラックが認められる場合には、クラック幅の大きさにより適切な処理を  
おこなって下さい。

<補修方法フローチャート>



★注意事項

本漆喰の下地がコンクリート・モルタルの場合についても、豊運の漆喰で補修する事を推奨します。

ポリマーセメント系で補修した場合、本漆喰面にポリマーセメントが被るとその部分で付着不良が発生する恐れがあります。



## <塗装方法>

### 1) 含浸塗り(アレスシックイ外部用含浸シーラー)

- ①標準所要量は、個々の条件により異なり増減します。特に含浸シーラーは増減幅が大きいのでご注意ください。
- ②アレスシックイ外部用含浸シーラーは、2液形です。  
ベースに対し規定量の比率(ベース/硬化剤=4/1)で配合し、十分に攪拌してください。
- ③無希釈で塗装して下さい。
- ④表層が濡れ色になるまで、均一に塗りこんで下さい。
- ⑤外部用バインダー塗装前にセロテープを貼り付け、剥したセロテープに白い粉が付かない事を確認して下さい。  
万ーセロテープに白い粉が付く場合は、増し塗りして下さい。
- ⑥ローラーは中毛の無泡ローラーを推奨します。
- ⑦パテ処理はシーラー塗付前におこなってください。

### 2) 中塗り(アレスシックイ外部用バインダー)

- ①開缶後ハンドミキサーでよく攪拌して中身を均一な状態にしてから使用してください。
- ②上塗りのアレスシックイ外部用ホワイトは、他の上塗り塗料と比較して、隠蔽が劣ります。中塗りの外部用バインダーで隠蔽させるように塗り込んで下さい。
- ③無希釈で塗装して下さい。
- ④補修部分については、刷毛などで、先行拾い塗りを行ない、その後ローラーで全面塗装して下さい。  
又補修の必要ないヘヤークラックなども刷毛ですり込むように先行拾い塗りを行う事で、より綺麗に仕上がります。

### 3) 上塗り1回目(アレスシックイ外部用 ホワイト)

通常の水性上塗り塗料と同じ感覚で均一に塗装して下さい。  
1回目で不均一な状態ですと、2回目で吸い込みムラが発生する恐れがあります。

### 4) 上塗り2回目(アレスシックイ外部用 ホワイト)

- ①2回目は、1回目の塗膜に水分が吸い込まれるため、乾燥が早くなります。塗装の際は、ローラーに充分塗料を含ませ、棒塗りで速やかに仕上げてください。
- ②塗装中、悪い所を直そうと、戻ったり、ローラーで擦り過ぎたりすると肌が荒れたり艶ムラが出たりしますので、注意して下さい。

## <上塗り注意事項>

- ①開缶後ハンドミキサーでよく攪拌して中身を均一な状態にしてから使用してください。
- ②塗装用具  
刷毛； ナイロン刷毛を使用して下さい。(獣毛刷毛は、固まります。)  
ローラー； 含みの良い中毛ローラーを使用して下さい。  
推奨ローラー  
大塚刷毛製造株式会社  
「WAKABA」毛丈 13mm  
好川産業株式会社  
「ハイブリット」毛丈 13mm
- ③入れ隅など、刷毛で先行塗装した部分には、一般部のローラー塗装の際に極力塗り込み、刷毛目が出ないようにして下さい。  
(刷毛とローラーとの差が目立ち易いため)
- ④塗り継ぎが出やすく目立ちます。  
長柄を使用するか、足場の上下連携作業などを行うなどして、塗り継ぎが出ないように注意して塗装して下さい。
- ⑤他の塗料に比べ、補修性が悪いため、施工の際は、充分注意して下さい。
- ⑥アルミ製の塗装用具は、使用しないで下さい。
- ⑦他の塗料との混合は絶対に行わないで下さい。
- ⑧アレスシクイ外部用ホワイトの塗装面に養生が必要になった場合(逆養生)には、「車両用マスキングテープNo.7239 (日東電工株式会社)」を使用して下さい。  
他のテープでは、粘着材が黄変し、アレスシクイ施工面に転写されるおそれがあります。  
アレスシクイの上に貼ったテープは出来るだけ早く剥して下さい。



### 3、共通注意事項

#### <養生等>

- 1) 施工面以外に塗材が付着しないよう養生テープ・ビニールシート等で十分に養生して下さい。
- 2) 塗装後早い時期に、養生を除去して下さい。

#### <材料の保管>

現場での材料の保管は、室内、屋外共にシートを掛けを行ない直射日光・凍結を防止し、高温(40℃以上)、低温(-5℃以下)での保管は避けて下さい。

#### <その他注意事項>

- 1) 低温(5℃以下)及び高湿度(85%以上)の場合は、施工を避けて下さい。
- 2) 降雨が予想される場合は、施工を避けて下さい。
- 3) 明記している塗り重ね乾燥時間は、温度23℃・湿度50%の場合での目安です。環境条件により乾燥時間は異なりますので注意して下さい。
- 4) モルタル、コンクリートなどのアルカリ材質は、水分8%以下pH10以下になるまで、十分乾燥させてください。
- 5) 本品取り扱い中は、十分な換気をして下さい。特に低温時、密閉状態での施工は避けて下さい。(光沢ムラが発生する場合があります。)
- 6) 本品の取り扱い中は、皮膚に付着しないようにマスク、眼鏡、手袋等保護具を着用して下さい。